



# 羅針盤

発行:サイクラーズ株式会社  
編集:サイクラーズ株式会社 大森オフィス  
東京都品川区南大井6-26-3  
大森ベルポートD館 8F  
電話: 03-6410-8797  
URL : <https://www.cyclers.co.jp/>

## Market Forecasts by Y. san -10月-

### 鉄スクラップ

9月の鉄スクラップ価格は東京製鉄宇都宮工場特級価格45,500円/トンスタートから始まり、27日現在38,500円/トン。7,000円/トンも下がりました。要因としては、海外の鉄鋼需要の減退によるものと思われる。円高が進む状況のため10月はさらに下がるとでしょう。

### 銅

9月は国内銅建値1,390,000円/トン、LME9,200ドル/トン台でスタート。中旬までは中国の景気不安から下げが続きましたが、27日現在国内銅建値1,450,000円/トン、LME9,900ドル/トン台。10月に関しては中国の預金準備率の引き下げ、積極的な財政政策の推進によりまだ上がると思われる。

## 9月予測の自己評価

鉄スクラップ;○ 銅 ;× アルミ;○

### アルミ

9月のLMEは、2,420<sup>F</sup>\_/トン台から始まり、27日現在では2,500<sup>F</sup>\_/トン台となり、大きな動きはありませんでした。円高も落ち着いている。自動車業界の生産も特に増えていないことから 10月は横ばいでしょう。

### 産業廃棄物

産廃業界は相変わらずの人手不足が深刻化。特にドライバーの増員は厳しいようです。今後、給与、休日等の更なる改善を図らないと現状は変わらないでしょう。また、排出事業者からは運賃を含む処理費用をきちんといただき、人員を確保し、安さよりもサービス重視で進めるべきでしょう。

## Topics

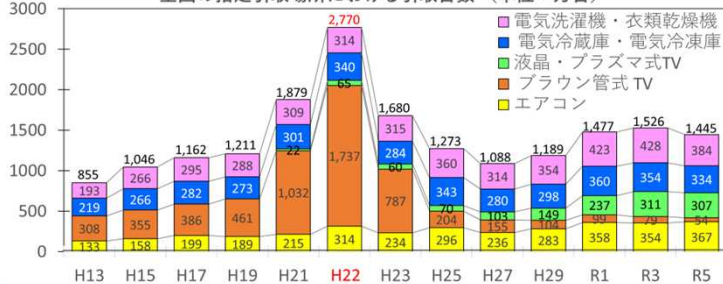
### 家電リサイクル実績 (令和5年度)

今年8月22日に公表された、令和5年度の家電リサイクル実績について、環境省及び経済産業省の公表資料からご紹介いたします。

#### 製造業者等による引取台数の推移

令和5年度に製造業者等が指定引取場所へ引き取った台数は、約1,445万台で、令和4年の1,495万台を下回りましたが、高い水準を維持しております。家電リサイクル法が施行された平成13年度から令和5年度までに全国の指定引取場所において引き取られた台数の推移を、隔年度(平成22年度は追記)ではありますが、次のグラフで示します。

全国の指定引取場所における引取台数 (単位:万台)



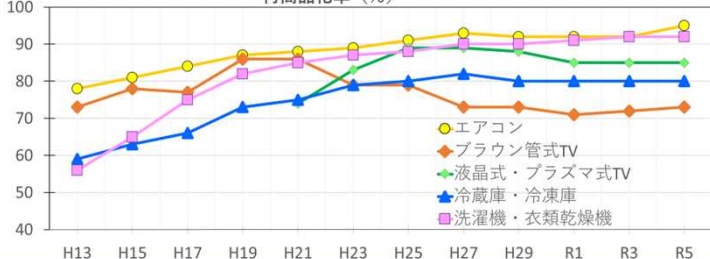
平成22年度にブラウン管TVの引き取り台数が驚異的に増えたのは、地上デジタル放送への移行と、平成21年5月15日～平成23年3月31日に購入された家電エコポイントが発行された効果で増えております。

#### 製造業者等における再商品化率の推移

製造業者等には、品目別に定められた再商品化\*基準(処理した重量に対する再商品化重量の割合)の達成が義務付けられております。令和5年度、品目別の再商品化率は、エアコンで93%(現在の法定基準80%)、ブラウン管式テレビで73%(同55%)、液晶式・プラズマ式テレビで85%(同74%)、冷蔵庫・冷凍庫で80%(同70%)、洗濯機・衣類乾燥機で92%(同82%)となっており、いずれも、継続的に法定基準を上回る実績をあげております。

\*再商品化とは、廃家電4品目から部品および材料を分離し、再び製品の部品や原材料として利用すること、または製品の部品や原材料として有償・無償で譲渡できる状態にすることです。

再商品化率 (%)



また、令和5年度における再商品化した場合の、品目別の総重量に対する当該部品及び材料の重量の比率は、右表の通りでした。

家電リサイクル法は平成13年(2001年に施行されてから23年を過ぎ引取台数は累計で3億台を超えました。この間の詳細なデータは(一財)家電製品協会のホームページから閲覧できますのでご参照ください。

<https://www.aeha-kadenrecycle.com/effort/>

出典及び加工した資料:環境省「令和5年度における家電リサイクル実績について」

[https://www.env.go.jp/press/press\\_03567.html](https://www.env.go.jp/press/press_03567.html)

## Series

### 大学での作品制作



#### サイクラーズ 経営企画部 三谷薫子

サイクラーズ経営企画部の三谷です。今回は大学生時代の作品制作のお話をさせていただきます。私は、武蔵野美術大学の彫刻学科出身です。カリキュラムとしては、1年生でデザインなどの他学科の勉強を学び、2年生で彫刻の素材をひと通り経験し、3年生から木・石・金属・FRP(樹脂)・セラミック・漆の工房から素材を選択します。私はその中でも石を選び、大学院までの4年間石彫で制作を行っていました。

石の入手は基本的に、先輩が大学に残していったものを使うか、または自分で採石場や石材店に買い付けに行くかのどちらかでした。例えば大理石が欲しい場合は、日本では採れないため、基本的に輸入品となります。最も取り扱いの多い岐阜県関ヶ原にある石材屋さんに行きに行くのが各大学共通の風習がありました。私も一度関ヶ原に行きに行ったことがあります。広い敷地に様々な種類の大理石の塊が並んでいる光景は圧巻でした。大理石といっても種類が様々で、イメージしやすい白色のものから、緑色、黄みがかったものなど個性豊かです。大理石は硬いと思われがちですが、石の中では柔らかく加工しやすいのが特徴です。今でこそ技術が発展し様々な道具が揃っているので細部の彫刻もしやすいですが、イタリアのパロック彫刻が大理石で細部まで作りこまれているのは、当時の技術でどうやっているのかといつも不思議に思います。

大学院の修了制作では、長崎の諫早まで石を買い付けに行きました。諫早の名産の諫早石は砂岩と呼ばれる種類のもので、その名の通り砂が集積して形成されています。そのため、細かい造形がしやすく柔らかい影が落ちるのが特徴です。諫早石のように日本が産地の石の場合は、採石場があり、運が良ければ実際に岩肌から採石しているところを見ることができます。採石の方法では岩を爆破して採るという場所も多いようです。石によって表現方法や印象も全く変わるの、石の魅力だと思っております。



筆者の作品「石影ドロイング」

最近、enloopでも石を取り入れたマテリアルリサイクルやリメイクに挑戦しようとしています。家具屋さんから不要となった大理石を回収して実験をしているところです。

先日有楽町マルイで開催したイベントでは、終業後や土日にも関わらず社内からも多くの方々にご来場いただき大変励みとなっております。いつもありがとうございます。近々また告知がございますので、また楽しみにしていただけますと幸いです。(次回へ続く)

	テレビ			
	ブラウン管式	液晶及びプラズマ式	冷蔵庫及び冷凍庫	洗濯機及び衣類乾燥機
鉄	29%	15%	45%	47%
銅	7%	4%	2%	2%
アルミニウム	1%	0.11%	4%	2%
非鉄・鉄など混合物	42%	2%	15%	12%
ブラウン管ガラス	—	47%	—	—
その他の有価物(プラスチック等)	20%	32%	45%	35%
総重量(トン)	138,740	9,153	40,635	166,477

\*値はブラウン管テレビのアルミニウム以外は、全て小数点以下を四捨五入  
\*その他の有価物とは、プラスチック等である。